出材少ないが市況は強含み

盛岡木材センターでは９月になり、出材量は先月同様だが単価は全体的に上がった。
盛岡共販広葉樹では、ナラ、鬼グルミ、サクラ等を中心に値段が冬場の単価に戻ってきた。シナ等の白い木も単価が大きく上がった。１０月は完全な値戻しとなることは間違いないので集荷に力を入れなければならない。
スギは、県北一部の地域を除いてはほぼ値上がり傾向ではあるが、一般材は依然として直送の方が利点が大きい状態で、各センターも取扱いが下がってきている状態となっている。合板工場直送がメインとなるため、各センターはいかに合板工場着値以上の単価で販売できるかが大きな鍵となるだろう。宮城県の大型工場もだんだんと在庫が足りなくなってきたとの声もあり、今後県南中心に値上がりが期待できるので、A材中心の集荷に力を入れていく事が重要になるだろう。

《上段～特選材、下段～一般材 》　　（ m3当たり ）

木材流通センター			盛岡	一関	遠野	高田	宮古	二戸	久慈	浄安	釜石	東磐
樹種	長級（m）	径級（cm）	9月21日	9月5日	9月25日	9月8日 9月28日	9月5日	9月7日	9月20日	9月26日	－	9月27日
スギ	2.00	18cm上	6500	－	6,300	－	－	6,000	5,600	6,100	－	7,000
	3.00	14～18	10,300	－	11,000	10,800	11,200	8,000	－	－	－	10,700
	3.65	18～28	11,500	11,000	11,000	－	12,200	－	－	11,800	－	10,800
	3.65 4.00	30cm上	78,000 13,000	30,550 13,000	11,000	16,500 11,000	12,700	8,700	9,000	10,800	－	10,300
	4.00	10～16	7,200	8,000	8,000	7,800	7,100	－	－	－	－	7,600
落札数量	3,893 m3		292	164	844	553	193	151	32	484	0	1,180
アカマツ	2.20	36cm上	－	－	―	－	－	－	－	－	－	－
	3.00	14～28	－	－	―	―	―	－	－	－	－	－
	4.00	18～28	－	－	―	－	9,200	－	－	－	－	－
	4.00	30cm上	－	－	―	－	－	－	－	－	－	－
落札数量	53 m3		0	0	0	0	7	0	46	0	0	0
カラマツ	4.00	7～13	12,000	－	－	－	－	9,000	－	－	－	10,000
	4.00	14～28	15,200	－	14,000	－	－	14,600	15,000	－	－	13,300
落札数量	621 m3		177	0	19	0	0	221	163	1	0	40
出荷数量	6,359 m3		1,606	462	866	594	206	511	337	528	0	1,249
落札数量	5,952 m3		1,478	236	863	565	201	511	337	527	0	1,234
平均落札率		94%	92%	51%	100%	95%	98%	100%	100%	100%		99%
延べ参加者		205名	59	30	15	7	10	21	19	14	0	30

今後の動向	スギ					アカマツ				カラマツ		造作用材のポイント
	2.00	3.00	3.65	3.65	4.00	2.20	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
	18cm上	14～18	18～28	30cm上	10～16	36cm上	14～28	18～28	30cm上	7～13	14～28	1
強気配	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
保　合		○										3
弱気配												